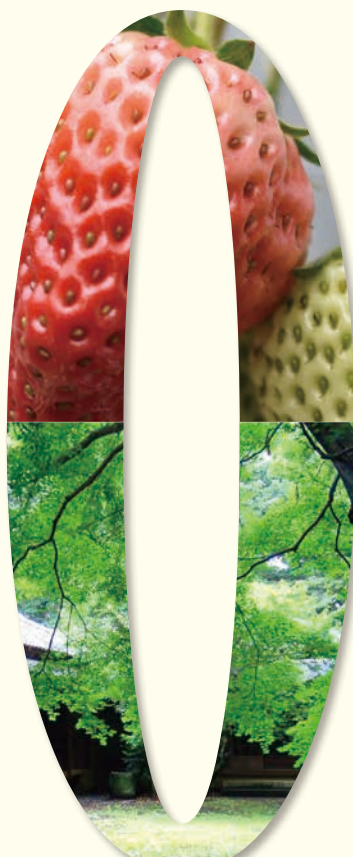
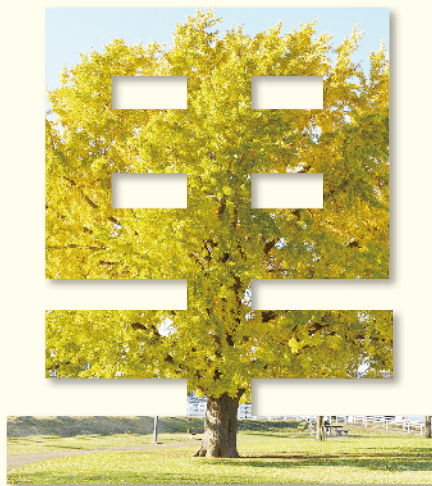




2022

4

広報号外





市制 20 周年を迎えて

ごあいさつ

Greetings from the Mayor



富里市長
い が ら し ひろふみ
五十嵐 博文

心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動のとみさと

令和 4 年 4 月 1 日、富里市は市制 20 周年を迎えました。
日々の営みを積み重ねてこられた市民の皆様、市政運営にご協力いただいた皆様、富里市の発展にご尽力いただいた全ての皆様に、厚くお礼申し上げます。
この市制 20 周年という新たな船出となる節目の年を、市民の皆様と心をひとつにしてお祝いするとともに、ふるさと富里への誇りや愛着を深める機会にしたいと考えております。
また、コロナ禍において、「市民の皆様が元気であれば、まちも元気に」という「元気」の尊さを実感しました。市制 20 周年を契機に「元気なまちとみさと」として、更なる発展に向かうために力強く進んでまいります。
令和 4 年度は、新たに策定した本市の羅針盤である「富里市総合計画」の元年でもあります。また、本市で初めての観光・交流拠点施設「末廣農場」のオープンも控えております。本市の賑わいを創出し、「心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動のとみさと」を目指し、まちづくりの新たな一歩を踏み出します。これからも全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



20th Anniversary Issue of Municipal System Enforcement

市制 20 周年記念号



富里市になって 20 年。
これまでの 20 年間を振り返り、皆さんと心をひとつにしてお祝いし、富里市の輝く未来を展望して、次世代につないでいきます。

市公式マスコットキャラクター
【とみちゃん】



市制 20 周年 記念号 ♪

目次

年表で振り返る

富里の歴史

4

写真で振り返る

富里市の 20 年

6

みんなのメッセージ

8

輝く未来へ

これからのまちづくり

10

数字でみる富里のすがた

11

提供：とみさとドローンクラブ



富里の歴史 *history*

明治

1870年(明治3年) 七栄・十倉に開拓者入植。
 1871年(明治4年) 南関東を襲った暴風雨のため、七栄・十倉の開拓地に大きな被害。
 1872年(明治5年) 七栄・十倉村誕生。
 1873年(明治6年) 日吉倉小学校、新橋小学校、高松小学校が開校。農民の子弟も教育が受けられるようになった。
 1875年(明治8年) 大久保利通内務卿の強い後押しにより、旧高野牧(十倉・御料)と旧内野牧(七栄)の一部に下総牧羊場が開設される。
 1880年(明治13年) 下総牧羊場と取香種畜場が合併、下総種畜場と改称。近代牧畜の先駆けとなった。
 1881年(明治14年) 明治天皇、下総種畜場を行幸。
 1884年(明治17年) 「連合戸長役場制」により、七栄村をはじめ、日吉倉、久能、根本名、大和、新橋、中沢、新中沢、立沢、立沢新田、高松、十倉、高野の13か村が連合。今日の富里の基礎が築かれた。
 1885年(明治18年) 子爵・吉川経建が明治15年に払い下げを受けた十倉(金堀など)で植林事業に着手。
 1889年(明治22年) 地方制度の改革である市制、町村制が施行され、連合戸長役場制によって連合した13か村で、「富里村」を形成。ここに新しく「**富里村**」が誕生。
 1911年(明治44年) 十倉(二区)の開拓事業開始。富里村青年会発足。

大正

1912年(大正元年) 末廣農場開場。(①)

1913年(大正2年) 十倉(三区)の開拓事業開始。成田ー多古間に県営の軽便鉄道が開通し、両国と実の口に停車場が設けられた。
 1922年(大正11年) 下総種畜場が、御料牧場官制の廃止により、「宮内省下総牧場」と改称された。

昭和

1927年(昭和2年) 県営軽便鉄道が、民間の成田電気軌道株式会社に引き継がれ、根本名、川津場、高野、十倉、古込などに、新しく停車場が設置された。
 1933年(昭和8年) 富里ですいかの栽培が始まる。
 1936年(昭和11年) 皇室へ「富里すいか」を献上。以後、すいかの特産地としての地位を着々と築く。(②)
 1939年(昭和14年) 成田電気軌道株式会社が撤退し、村内から軽便鉄道が姿を消す。
 1942年(昭和17年) 下総牧場が「下総御料牧場」に改められ、馬の繁殖事業が盛んになる。
 1946年(昭和21年) 農地解放により、下総御料牧場、末廣農場、吉川牧場(山林)、軍用飛行場(現在の十倉(四区))などに、戦災者、復員軍人、外地引き揚げ者が開拓民として入植。
 1948年(昭和23年) 富里村農業協同組合発足。農業共済組合結成。
 1963年(昭和38年) 新空港の候補地として、富里・八街地区が公表され、「富里村空港設置反対期成同盟」が結成される。
 1965年(昭和40年) 富里の秋冬物白菜に対し、国が「野菜産地」として指定。



④役場新庁舎完成(昭和50年)



⑤町制施行記念パレード(昭和60年)

1966年(昭和41年) 新空港の建設予定地として、「富里案」に替わり「三里塚案」がクローズアップされ、後に閣議決定。富里村商工会が正式に発足。
 1968年(昭和43年) ウイルス病が蔓延し、富里すいかが壊滅的被害を受ける。
 1969年(昭和44年) 富里村章を制定。新空港の建設計画に伴い、宮内庁下総御料牧場が閉鎖。
 1970年(昭和45年) 高野地先に「富里工業団地」が造成される。村の木を「山ざくら」に決定。
 1971年(昭和46年) 東京方面と新東京国際空港(現成田国際空港)を結ぶ、「東関東自動車道」が富里インターチェンジまで開通。(③)
 1972年(昭和47年) 浩養幼稚園開園。
 1973年(昭和48年) 富里幼稚園開園。
 1974年(昭和49年) 学校給食センター第一調理場完成。葉山保育所開設。
 1975年(昭和50年) 村営水道事業給水開始。富里村役場新庁舎完成。(④)
 1976年(昭和51年) クリーンセンター完成。
 1978年(昭和53年) 日吉台小学校開校。新東京国際空港開港。富里村5カ年計画を策定。
 1979年(昭和54年) 成田都市計画区域に編入、都市計画を決定。富里村消防本部・署(常備消防組織)発足。
 1981年(昭和56年) 保健センター完成。
 1982年(昭和57年) 第一小学校新校舎完成。向台幼稚園開園。
 1983年(昭和58年) 富里村総合計画策定。富里北中学校開校。富里中央公民館完成。
 1984年(昭和59年) 学校給食センター第2調理場完成。水道事業所完成。根本名小学校開校。非核平和都市宣言。社会体育館完成。

1985年(昭和60年) 町制施行で「**富里町**」が誕生。(⑤)人口は3万2,750人。町民憲章制定。町の花を「カキツバタ」に制定。交通安全都市宣言。消防署・消防本部の庁舎が完成。
 1986年(昭和61年) 県立富里高等学校開校。富里南中学校開校。富里町行政改革大綱決定。一部区域で公共下水道供用開始。
 1987年(昭和62年) 福祉センター完成。
 1988年(昭和63年) 富里幼稚園移転、新園舎完成。町のシンボルカラーを「ライトグリーン(DIC132)」に決定。

平成

1989年(平成元年) 富里誕生100周年。富里中央公園完成。
 1990年(平成2年) 国道409号バイパス開通。
 1991年(平成3年) 富里町総合計画を策定。第2回全国市町村ホースサミットが富里町で開催。
 1992年(平成4年) 富里北部コミュニティセンター完成。八富成田斎場(成田市吉倉)完成。
 1993年(平成5年) 消防署北部出張所開所。七栄小学校開校。
 1994年(平成6年) 日吉台警察官派出所が設置される。富里中央公園湿生植物園開園。
 1995年(平成7年) 富里中学校屋内体育館完成。中部ふれあいセンター完成。
 1996年(平成8年) 富里中央公園全面オープン(四季の森完成)。(⑥)
 1997年(平成9年) 富里ふるさと自然公園完成。
 1998年(平成10年) 富里町シルバー人材センター設立。町の花が「サルビア」に変更。
 1999年(平成11年) 消防署北部出張所の新庁舎完成。消防署北分署に改称。
 2000年(平成12年) 町老人福祉計画・介護保険事業計画を策定。町公式ホームページ開設。町ポイ捨て防止条例を施行。国勢調査で人口5万人突破。
 2001年(平成13年) 人口5万人突破記念 小学生議会開催。富里町総合計画を策定。富里町情報公開条例の施行。



①末廣農場開場記念祭(大正元年)



②皇室へ「富里すいか」を献上(昭和11年)



③富里インターチェンジの開通(昭和46年)



⑥富里中央公園オープンフェスティバル(平成8年)



市制施行で千葉県下33番目の市「富里市」誕生
2002年（平成14年）4月



市庁舎前に親子馬のモニュメント設置
2002年（平成14年）4月



富里市道01-008号線が開通
2014年（平成26年）4月



すこやかセンターがオープン
2016年（平成28年）3月



市立図書館開館
2003年（平成15年）3月



すいかの出荷量「全国1位」に
2007年（平成19年）3月



交通広場「富里バスターミナル」がオープン
2007年（平成19年）3月



幼保連携型認定こども園（葉山こども園、向台こども園）を開園
2017年（平成29年）4月



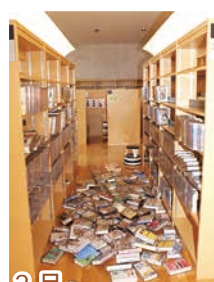
台湾頭份市と友好都市を締結
2017年（平成29年）4月



新木戸大銀杏公園が完成
2010年（平成22年）3月



東日本大震災 2011年（平成23年）3月



旧岩崎家末廣別邸が三菱地所株から
寄附される 2012年（平成24年）10月



市制施行10周年を迎え各種記念行事開催
2012年（平成24年）



祝 県道成田両国線バイパス 開通
平成31年5月14日
県道成田両国線バイパス（七栄付近）が
開通 2019年（平成31年）3月



台風15号、台風19号等に伴い、
市内に大きな被害 2019年（令和元年）



旧岩崎家末廣別邸の一般公開開始
2020年（令和2年）12月



テレビ番組内の企画で、市立図書館にスプレー
アート作品を制作 2021年（令和3年）7月

みんなのメッセージ

これからもこだわりを持って、農業を



たかはし ただやす
高橋 正泰 さん

父と妻と3人で農業を営んでいます。
すいか、にんじん、トマトを栽培していますが、
すいかは、昔ながらのやり方で、種を蒔く
ところから自分たちで育てています。
金堀地区は、すいか農家が比較的多いところ
ですので、お互いに刺激し合いながら、
今後もこだわりを持って、すいかづくりに
取り組んでいきたいです。

市制 20 周年を記念して、4 名の市民の方に「富里での生活」や「富里の良いところ」、
「今後のまちづくりに期待すること」などをテーマにメッセージをいただきました。
市民の皆さんにとって、「富里」はどのようなところでしょうか？
20 年経った今、改めて「私にとっての富里」を振り返ります。

市民活動団体「富里市精神障害者家族会
サルビアの会」代表

ひらの しずえ
平野 静江 さん

若き頃、富里を離れ、その後 U ターン。
村から町、町から市へ、そして市制 20 周年
を迎え、変化する富里を実感しています。
市民活動をフォローしてくれる市民活動サ
ポートセンターは、私にとっては大切な場
所です。皆が笑顔で、お互い様の精神で、
健康な人も障害のある人も分け隔てなく生
活できる市へと進むことを期待しています。

皆が笑顔で、分け隔てなく生活できる市に



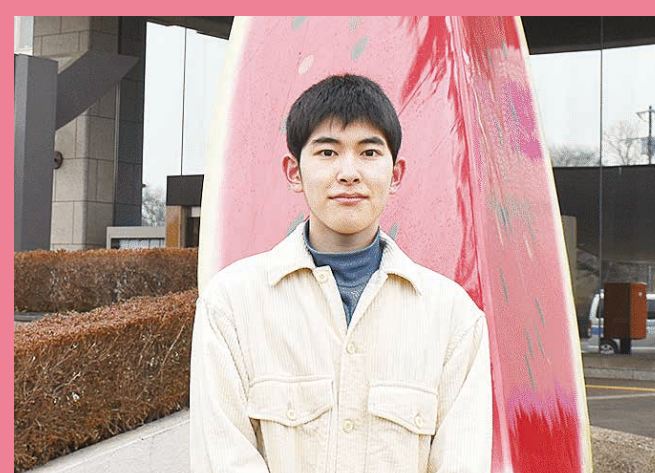
おがわ こうじ
小川 晃司 さん

富里は、ふるさとして 落ち着く場所



祖父の代から植木に関わる仕事をしており、
小さい頃から自分も植木屋になりたいと思っ
ていました。高校生の時に、家業を継ぐ決断を
して、今に至っています。
私はずっと富里にいますが、富里は良い意味で
変わっていない、ふるさとして落ち着く場所ですね。
今後も、富里で今の仕事のスタイルを続けて
いき、もし、自分の子どもが植木屋になりたい
と言ったら、植木屋はいい仕事だと自信をもって
伝えたいと思います。

美しい街富里が より活発な街になるように



こつじ ゆうた
小辻 裕太 さん

私は、富里市の良いところは、大きく 2 つある
と思います。
1 つ目は、自然が非常に豊かで、住み良い
環境であるということです。
2 つ目は、皆とても優しく、この街全体が
活気に満ちあふれていることです。
私は、これから新成人として新たな人生を歩ん
でいく上で、この美しい街富里がより活発な街に
なるように、日々考えていきたいと思っています。

輝

く未来へ

これからのまちづくり



新たに富里市総合計画を策定しました。

本総合計画では、今後10年間とさらにその先の本市が目指すべき姿を景色として描き、令和という新たな時代とともに、「人が動く、ものが動く、全てが生き生き動く躍動の富里」の実現を目指し、市民と心をひとつに元気あふれる富里の未来を創造します。

そして、子どもから高齢者までみんなで手を携え、本市の輝く未来と、故郷として誇れる「我がまち富里」の実現を目指します。

8 future views

未来の景色

市民一人ひとりが希望と活力を持って、自分らしく輝いて暮らす、10年後の本市の将来像（8つの分野ごとのまちづくりの目標）

1

福祉のまちの景色

地域でつながり守り合う、子どもから高齢者まで全ての人が安心して暮らせる元気なまち

2

都市基盤の景色

誰もが暮らしやすい、未来へとつむぎ輝くまち

3

安心・安全なまちの景色

災害などのリスクから地域を守り、安心して暮らせる安全なまち

4

産業のまちの景色

地域の良さを活かした、富里ならではのにぎわいのまち

5

自然・生活環境の景色

豊かな自然に抱かれた、安心して暮らせるまち

6

教育のまちの景色

ふるさとを愛し、心の豊かさと未来を切り拓く人づくりのまち

7

連携と交流のまちの景色

多様な主体と連携・交流するまち

8

行政経営の景色

運営から経営へ、歳入改革による持続可能なまち

2031

2022



数字でみる富里のすがた



千葉県の北総台地の
ほぼ中央に位置。
都心から約 50 ～ 60 km 圏、
成田空港からは西に約 4 km。

現在の富里市のすがたを、市制施行時の
20 年前と 10 年前とで比べてみました。
人口の増減にあまり変動は見られない
ですが、世帯数は増加しています。
一方で、交通事故、犯罪の発生件数や、
火災発生件数・損害額は、減少傾向に
あり、事故、事件、火災の少ない安心・
安全なまちのすがたが、浮かんできます。

人口



平成 14 年	平成 23 年	令和 3 年
49,573 人	49,071 人	49,482 人

世帯

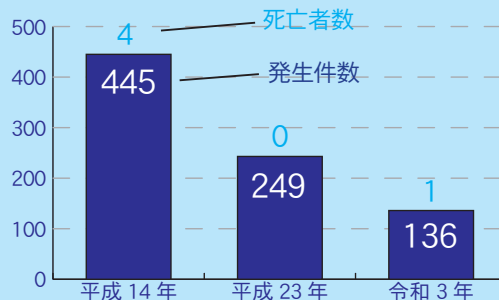


平成 14 年	平成 23 年	令和 3 年
18,161 世帯	20,139 世帯	23,740 世帯

9 月 30 日現在

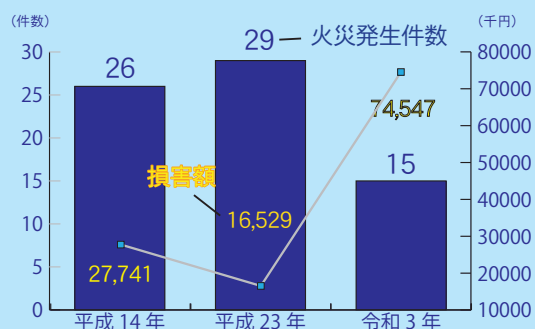
資料 住民基本台帳

交通事故発生件数・死亡者数



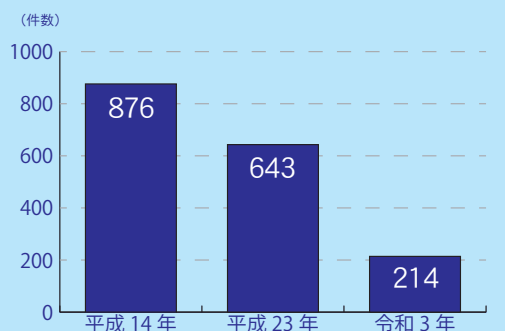
資料 市町村別交通事故発生状況

火災発生件数・損害額



資料 消防年報

犯罪発生件数



資料 犯罪の発生状況 (刑法犯認知件数)

**農業
産出額
(令和元年)**

にんじん
全国 1 位

すいか
県内 1 位
全国 4 位

さといも
県内 2 位
全国 12 位



市章

富里の「と」と、勝利の「Vサイン」の交錯によって、躍動と発展を表し、周囲の丸は融和と郷土愛を象徴したものです。昭和44年4月1日に制定。
(村章として)

明治22年の「市制・町村制」の施行で誕生した富里村。この名前は、読んで字のごとく
“豊か(富む)な郷土(里)”という願いと、“十(と)三(み)の里(さと)”をかけて命名されました。
十三の里とは、富里村のもととなった13の村を意味しています。



市制20周年記念 ロゴマーク

深緑は「とみさとの自然」、青は「とみさとの広い空」を表しており、外環には、サルビア、山桜、サギ、馬、にんじんなどを配しています。「かわいさ」と「かつこよさ」を併せ持ったデザインです。



市の花 サルビア

住民アンケートを参考に、「サルビア」と決めました。
平成10年4月1日に制定。



市の木 山ざくら

住民から一般公募し、「山ざくら」として決めました。
昭和45年11月に制定。

市民憲章

北総台地の自然の中で、健康で豊かな生活と香り高い文化を育て、人と人とのふれ合いを大切にし、心のかようまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

豊かな大地を愛し歴史と伝統を誇るまちをつくりましょう
人と平和を愛し世界にひらくまちをつくりましょう
花と緑を愛し心身ともに健康なまちをつくりましょう
若い力を育て勤労を愛し活力あるまちをつくりましょう
郷土と文化を愛し調和のあるまちをつくりましょう

(昭和60年4月1日制定)

富里市市制20周年記念号

発行日 令和4年4月1日

発行 富里市

編集 富里市総務部広報情報課

〒286-0292

千葉県富里市七栄652-1

電話：0476(93)1111

市公式ホームページ



※無断転載・複製・転載など禁じます。